

2017.2月

品質月報

Monthly Quality Report

2月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
日本将棋連盟の誤判断

PAGE 5 ……品質状況

市場不良率推移 クレーム発生状況



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動をおこない、社会へ貢献してまいります。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめてまいります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守をとおして品質の向上につとめてまいります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネージメントレビューをおこない、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかってまいります。

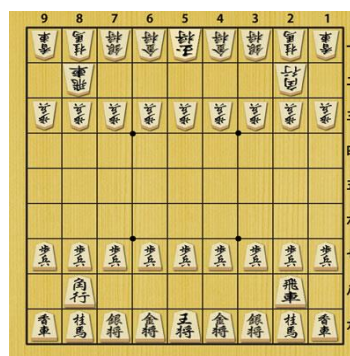
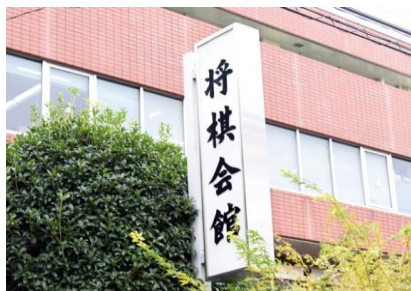
平成26年10月1日
サンシングループ

石井 宏宗



今月のトピックス

日本将棋連盟の誤判断



日本将棋連盟の谷川浩司会長(54)は、棋士による将棋ソフト使用疑惑問題の責任を取って辞任する考えを明らかにした。

谷川会長は「将棋ファンの皆さま、三浦弘行九段に誠意をお伝えするには、会長が辞任するのが一番という結論に至った」とのコメントを出した。新会長が決定するまでは会長職を続けるという。

同連盟は対局中の不自然な離席を理由に昨年10月、竜王戦の挑戦者に決まっていた三浦九段に対し、同12月まで出場停止の処分を下した。三浦九段は当初から疑惑を全面否定。

第三者委員会は棋士らからの聞き取り調査や対局の映像分析の結果、疑惑の根拠とされたの竜王戦決勝トーナメントでの三浦九段の30分の離席はなかったと認定。

指し手のソフトとの一致率も他の棋士と大差なく、不正の根拠にはできないと判断した。三浦九段のスマートフォンなどからも不正を行った痕跡は確認されなかったという。

第三者委員会の但木委員長は「証拠力は到底ないという結論だった」と話した。また、「三浦九段が被った不利益を償う形でバランスを取るべきだ」と指摘し、「一刻も早く公平な状況を取り戻してもらいたい」と述べ、三浦九段の名誉回復を求めた。

何故、誤った結論を出したか？

疑惑は、三浦九段が約30分間離席したと対局相手から指摘があったことが発端だったが、調査委が映像を分析した結果、その事実はなかったことが判明。谷川会長は「事実確認を怠ったことは痛恨。スタートの時点から正しくなかった」と苦渋をにじませた。

三浦九段の処分決定とその後の対応については、日本将棋連盟ではおよそ常識的とは言い難い意思決定が短い期間で次々と繰り返されていた。「トップ棋士のカンニング疑惑」という事案がいくら刺激の強いものであったとはいえ、挑戦者変更を決定した当時の事実確認はあまりにも不十分であったし、挑戦者変更の手続きも不適切であったことは認めざるを得ないだろう。

何故、そこまでのことをせざるを得なかったのかといえば、「タイトル戦の途中で週刊誌にカンニング疑惑を報じられるわけにはいかなかった」ということである。これは、第三者委員会による記者会見においても指摘されている通りだ。

今後

スマートホン、対局場への持ち込みはできるが、通信は禁止し、休憩時間に自分の対局の中継を見るなど不正を疑われる行為も禁じた。電源の切り忘れなどで着信があった場合、1回目は警告、2回目で負けとする。

誤判断

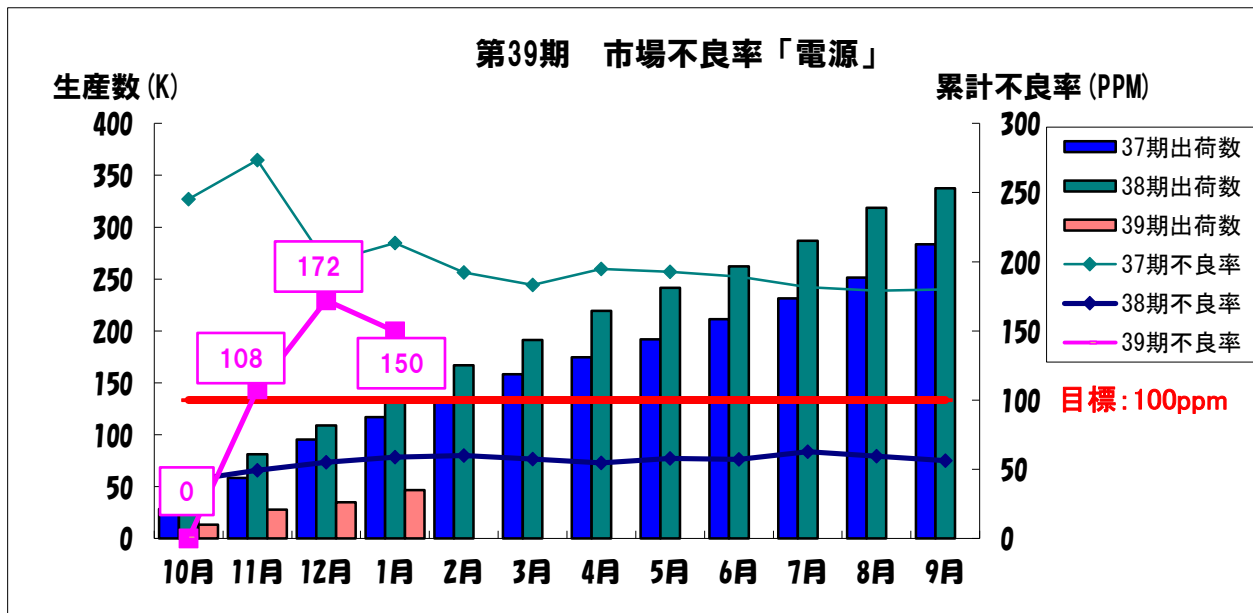
面子を気にするあまり、短時間で無理矢理結論を出し、誤った結論を出してしまった。その結果、信頼を失墜。

今月の品質状況

39期の旗印

納入不良率 目標.....100ppm

39期の累計不良率は、150ppm です。
 市場不良累計 : 7件 客先クレーム : 0件



クレーム発生推移

「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に
 当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合

